

音楽研究委員会

1 研究テーマ

友と関わりながら、自らの学びを深める鑑賞授業のあり方

2 研究内容

(1) 研究授業

実施日 平成22年11月17日(水)

授業会場 小布施町立小布施中学校

題材名 「音楽要素と曲想の関わりをとらえながら、楽曲を味わって聴こう」

教材名 『魔王』(ゲーテ作詞 シューベルト作曲)

授業学級 1年2組

授業者 楠本 満穂 教諭

(2) 研究内容

鑑賞領域については、児童生徒にどんな力をつければ良いかやどんなふうに評価をしていけば良いかがわからないため、今までじっくりと取り組めていない実態があった。多くの先生方が、児童生徒に感想を書かせても、それが教師とのやりとりのみで終わってしまったり、感想を発表させっぱなしになってしまったりと、児童生徒の感じたことを生かして授業を展開することができていなかった。また、子ども同士の関わりも少なかった。そこで、本年度は、「友と関わりながら自らの学びを深める鑑賞授業のあり方」というテーマを設定し、研究を進めてきた。

最初にグループや全体で話し合う場面を設定した授業を試みた。子どもたちにとっては意見交換ができて楽しい活動ではあるが、この活動が有効であるためには、どんな観点について書き、どんな観点について話しあうのかがはっきりしていないと、ただ意見を出すだけの活動となってしまうことが課題となった。その後の研究から、

- ① 聴かせる観点や学ばせたい音楽要素をしぼること。
- ② 観点到って学習カードを工夫すること。
- ③ 生徒同士が意見交換する場面を設定し、その活動が生かされる授業展開を考えること。

以上3点を指導の手だてとして実証授業を行うことにした。

3 研究の成果

(1) 指導の実際

- ①学習課題を「魔王を探せ!!」とし、簡単なストーリーと登場人物の説明を最初に行い、魔王の旋律を探すために集中して楽曲に耳を傾けさせることをねらいとした。魔王の旋律に注目するということは、他の登場人物の旋律とも比較しながら聴くという意味もあった。生徒は、他の登場人物と比較しながら、それぞれの旋律

